

目次

星野道夫

永遠とわの祈り

—— 共生の未来を目指して ——

『星野道夫 永遠の祈り』によせて

東京大学名誉教授 矢作直樹

3

はじめに..... 11

第一章 共生への眼差し

星野道夫という人..... 19

銃を持たなかった矜持..... 25

大切なことは出発することだった..... 30

好きなことをやってゆこう..... 35

静かであること ゆっくり進むこと..... 41

もうひとつの時間..... 45

戦争..... 53

反骨のバイオロジスト..... 58

第二章

靈性を求めて

許しという学び……………67

多様性……………75

靈性（スピリチュアリティ）……………83

神話……………89

トータルポール……………97

悲しみの約束……………102

今……………106

明日の出来事……………111

大げさではない死……………116

未来を見通したインディアン……………125

不安と付き合う能力……………132

七世代先への眼差し	138
待つということ・物語をつくること	148
老い、そして死	158

第三章

先住民の教え、そして旅

アラスカ先住民族の教え	169
星野道夫 旅の風景	187
月光浴	198
ユーコンの川旅	203
デナリトレッキング	207
終わりに	210

——目に見えないものに価値をもとめて——
魂を語る時代……